

みえ

Kensei dayori MIE

平成28年(2016)

10

No.387

広報紙

平成28年10月2日発行
(毎月第一日曜日発行)

データ
放送

毎週木曜日更新

「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

知事が行く!
突撃取材!

Part2

～世代を超えて集える場所に～

少女まんが館
TAKI 1735

裏表紙をご覧ください。

10月は里親月間

あなたに今、知ってほしい
里親という家族のかたち

みんなでごはんを食べたり
たん生日をいわってくれるのがうれしい。

里親と暮らす子どもさん

子どもは社会の宝。
みんなで育てていきたい。

里親Aさん

親の病気や事故、養育困難などの理由により、家族と暮らせなくなった子どもたちがいます。そのような子どもたちが自分の居場所を見つけ、健やかに成長していくためには、安心して生活できる家庭的な環境が必要です。

今号では、近年、関心が高まっている里親制度について紹介します。

里親は特別なことではありません。

自分のできる範囲で

子どもたちの手助けをしたいと思っています。

里親Cさん

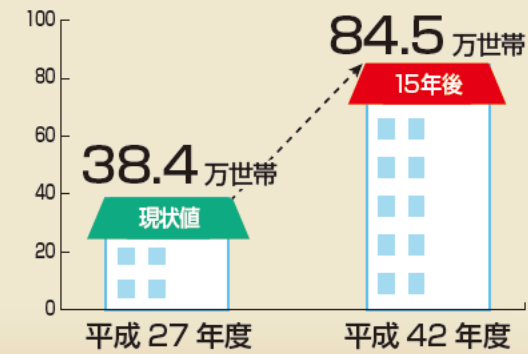
新エネルギーが変える未来の暮らし

伊勢志摩サミットでは、温室効果ガス削減に向けた課題についても話し合われました。今、私たちには未来への責任として、できるだけ環境に負荷をかけない暮らしが求められています。

三重県は日照条件に恵まれ、森林面積が県土の3分の2を占めるなど、太陽光発電や木質バイオマス発電等の再生可能エネルギーに適した地域です。これら再生可能エネルギーと、電気自動車などのエネルギー高度利用技術を「新エネルギー」と位置付け、県は、企業や県民の皆さん、市町や関係団体等と連携し、平成42年度までに一般家庭84.5万世帯分の新エネルギーの導入を目標に取り組みを進めています。



三重県がめざす新エネルギーの導入目標



再生可能エネルギー（熱利用と発電）



新エネルギー

新エネルギーの導入を進めていきます。



※1 ゼロエネルギー住宅…太陽光発電や省エネ技術等を利用し、年間エネルギーの消費量を収支ゼロにする住宅
※2 電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車など環境にやさしい自動車を、次世代自動車といえます。

私たちは、エネルギー問題を自らのことと考え、暮らしにおけるエネルギーの使い方や意識を変革していかなければなりません。その一つとして、太陽光発電、ハイブリッド自動車などの活用や、節電などの省エネの取り組みを、できるところから進めていきましょう！

※新エネルギー等の詳細は、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

三重県新エネルギー リーフレット [Q 検索](#)

イベント情報

みえリーディング産業展 2016 燃料電池自動車の展示や水素エネルギーに関するセミナーを開催します。
日時：11月11日(金) 10時～17時、12日(土) 10時～16時

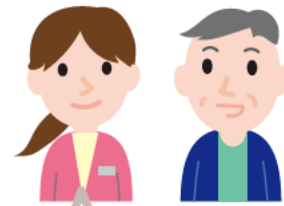
※水素エネルギーに関するセミナーは12日(土) 13時～14時30分に開催します。

場所：四日市ドーム（四日市市大字羽津甲 5169）

問い合わせ先／雇用経済部 エネルギー政策・ICT活用課

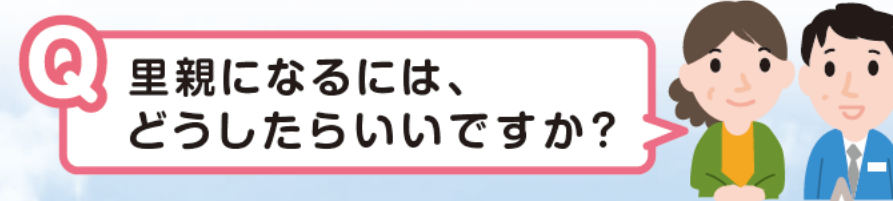
☎059・224・2316 FAX059・224・3024 ✉energy@pref.mie.jp

教えて！里親制度 Q&A



Q 里親とは養子縁組のことですか？

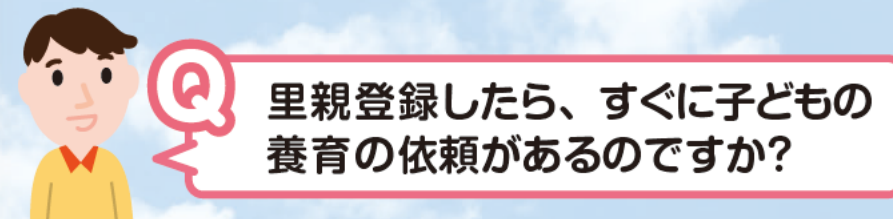
A 養子縁組を希望する「養子縁組里親」だけでなく、子どもが家族と暮らせるようになるまでの一定期間、自分の家庭で養育する「養育里親」などがあります。「養育里親」の場合、養育期間は数年間の場合もあれば、数カ月の場合もあります。



Q 里親になるには、どうしたらいいですか？

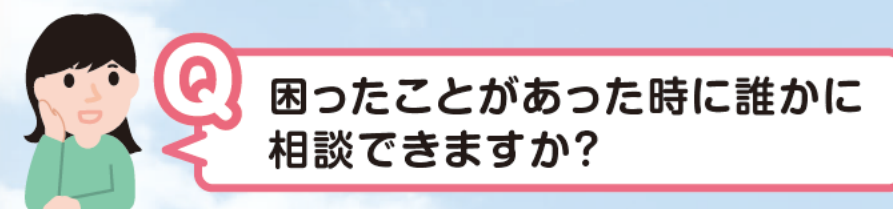
A まずは児童相談所にご相談ください。職員が面談や家庭訪問などを行います。研修の受講などが必要な場合もあります。

※児童相談所は、県内各地に5カ所あります。詳しくは、ホームページをご覧ください。県児童相談センターまでお問い合わせください。



Q 里親登録したら、すぐに子どもの養育の依頼があるのですか？

A 里親登録順に子どもの養育を依頼するわけではありません。子どもの年齢や特性、里親の状況などを考慮し、子どもにとって最適な里親に依頼します。



Q 困ったことがあった時に誰かに相談できますか？

A 児童相談所の職員や児童養護施設等に配置されている里親支援専門相談員が、関係機関などと連携しながら養育の支援を行います。

問い合わせ先
三重県児童相談センター
☎059・231・5669
FAX059・231・5604
✉jidocen@pref.mie.jp

三重県里親制度 [Q 検索](#)

里親出前講座

職員や里親支援専門相談員が伺い、里親制度に関する説明を行います。地域や職場の勉強会などにお気軽にご利用ください。

日時 11月27日(日) 13時30分～15時
場所 尾鷲市中央公民館 3階 大会議室
※12月以降の開催予定につきましては県児童相談センターのホームページをご覧ください。
お問い合わせください。

里親説明会(事前申込不要)

里親に関心のある方を対象に、里親制度について詳しく説明します。

※詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。
申込・問い合わせ先
特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター
〒514-0125
津市大里窪田町2709-1
☎059・232・0270
FAX059・232・0271
✉mie-kodomo-npo@za-zty.ne.jp

三重県子どもNPO [Q 検索](#)

ご存じですか？ 里親制度

県内には、さまざまな理由により、家族と生活できない子どもが約500人います。そのような子どもたちを家庭に迎え入れ、愛情をもって育ててくださる方が「里親」です。

里親制度は、健やかな育ちの場を求める子どものための制度です。全ての子どもが温かく幸せな家庭に守られ、自らの可能性を最大限発揮するために、里親や地域の皆さん、関係機関等の理解・協力が欠かせません。

みんなで子どもを守り育てる社会に向け、里親制度について考えましょう。

子どもの育ちをみんなで応援するために



里親制度の普及啓発に向けた取り組み

10月は里親月間です！
里親について学んでみませんか

里親シンポジウム

日時 10月8日(土) 13時30分～16時15分
場所 玉城町保健福祉会館 ふれあいホール
(度会郡玉城町勝田4876-1)

申込 10月5日(水) まで

講師に上鹿渡和宏さん(長野大学社会福祉学部 准教授)をお迎えし、里親制度について理解を深めます。

※詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせください。

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター

〒514-0125 津市大里窪田町2709-1

☎059・232・0270 FAX059・232・0271

✉mie-kodomo-npo@za-zty.ne.jp

三重県子どもNPO [Q 検索](#)

～世代を超えて集える場所に～

少女まんが館 TAKI 1735

人と人との交流が生まれる場

昨年8月に多気町に誕生した「少女まんが館 TAKI 1735」を訪ねました。こちらは、少女まんがをテーマにした西日本最大のミュージアムで、蔵書は何と7,000冊！館主の志村和浩さんと妻のさくらさんに、1階のカフェと2階のライブラリーを案内してもらいました。もともと中古の木造住宅であったものを、自分たちで夢のミュージアムに改装したそうです。さくらさんは、男性でも楽しめそうなものや三重県出身の方の作品、私の生まれた年の人気作品など、お薦めをたくさん紹介してくれました。



志村さん一家は3年前に東京から移住。子どもたちに毎日、「車に注意しなさい」、「家の中で走らない」と注意ばかりしていた都会でのマンション生活と違い、のびのびと暮らせる三重県での生活に魅力を感じたそうです。「少女まんが館をオープンし、たくさんの人と出会うことができた」と話す2人。ご近所からは、お茶を飲んで話

せる場、としても重宝されているそうです。

少女まんがは忙しい方にこそお薦め

さくらさんは「少女まんがは日常をしばし忘れ、リフレッシュできるツール。忙しい方にこそ読んでほしい」と言います。さくらさん自身も子育ての合間に楽しみ、その後は仕事もはかどるそうです。



最後に、さくらさんから「少女まんがのジャンルは幅広く、男性やビギナーの方にもお気に入りの一冊が見つかるはず」とメッセージをいただきました。すてきな一冊を見つけるお手伝いをしてくれるのも当館ならではのですね。

和浩さんは今、公園など屋外でまんがを読む「少女まんがピクニック」も開催されています。三重に生まれたこのミュージアムに、新しい地域コミュニティの場として、また、地域おこしの手法としての可能性を感じた取材でした。

取材／知事 鈴木英敬



三重を舞台に描く夢



1階には、地元食材を使ったランチを楽しむカフェもあり、地域の皆さんとの交流の場としても親しまれています。

少女まんが館 TAKI 1735
開館日時：水曜日～土曜日
11時～17時
入館料：無料
☎0598・67・4968

少女まんが館 TAKI 1735 Q検索



地元食材を使った人気オムライス



「少女まんがピクニック」は、青空の下でまんがが読める楽しい企画です。

イベント

みえ子ども森の学びサミット

森や木について、子どもも大人も楽しみながら学べるイベントです。ミラノデザインウィーク2016に出展された木製自動車「刹那」も来ます！（事前申込不要）

日時 10月22日（土）10時～16時（雨天決行）

場所 県立みえこどもの城（松阪市立野町1291）

内容 森林環境教育や木育の取り組み発表、木工体験や自然観察、チェーンソーアート、ミエトイ・キャラバン、木製品の販売、他

※当イベントは、「みえ森と緑の県民税」を活用しています。

※詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問い合わせ先 農林水産部 みどり共生推進課

☎059・224・2513

みえ子ども森の学びサミット Q検索

お知らせ

「三重県障がい者芸術文化祭」出展作品・発表の募集【締切：10月31日（月）】

募集内容

- ・出展作品：絵画・写真・書道・版画・彫刻・陶芸等（県内に住所を有する障がいのある方が制作したもの）
- ・ステージ発表：歌唱・楽器演奏・演劇・ダンス等（県内に所在し、出演者の半数以上が障がいのある方による発表）

※詳細は、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

※「三重県障がい者芸術文化祭」は12月17日（土）・18日（日）に尾鷲市民文化会館せぎやホールで開催し、どなたでも入場できます。

応募問い合わせ先 三重県障がい者芸術文化祭実行委員会事務局

☎059・232・6803

三重県障害者社会参加推進センター Q検索

その他のイベント・お知らせはデータ放送で！

三重県データ放送

「県政だより みえ 暮らしの便利帳」は

三重テレビ第1チャンネル（7ch）と「d」ボタンで！

操作は簡単

2ステップ！

1 三重テレビ（地デジ7ch）視聴中に「d」ボタンを押す

2 リモコンの▲ボタンで「暮らしの便利帳」を選び、決定ボタンを押す



ゲームでポイントを集めて応募すると、三重の美味しいものが抽選で当たるプレゼント企画実施中！

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。

県政だより みえ Q検索

編集・発行/三重県広聴広報課 「県政だより みえ」に関するご意見・感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。

〒514-8570（住所不要） 三重県広聴広報課

☎059・224・2788 FAX 059・224・2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内（各課ご案内）☎059・224・3070

三重県の人口・世帯数 人口/1,808,189人（男性：879,952人 女性：928,237人） 世帯数/723,022世帯 平成28年8月1日現在

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

三重県は環境保全活動を推進するシンボルとして、エコマークを使用しています。

VEGETABLE OIL INK

この広報紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インクを使用しています。

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ（☎092・716・1404）までお問い合わせください。

三重県内各市町の指定給水装置工事事業者

※現在、県内7市町で登録

トイレ修理・台所・浴室・洗面

つまり水漏れ緊急対応

スピード対応
致します

出張料金 キャンセル料金 深夜料金

一切かかりません



基本料金
3,000円（税別）

※トラブル箇所により、別途材料施工費が必要となる場合があります

見積無料

全国に広がる信頼と安心の窓口

水のトラブルサポートセンター®

24時間受付・年中無休

0037-6001-66993

詳しくはWEBへ ▶ 水のトラブルサポートセンター 検索 (株)シエー 中部本社：名古屋市中区丸の内3-17-1

地域お客様満足度
NO.1を目指します



広告

イメージキャラクター
舞の海 秀平さん

水トラ君